



賀茂地域協議会



発行: 賀茂地域協議会 電話: 43-1875 E-mail: kamo@town.misasa.tottori.jp

生活環境部企画 第1弾!!

かもいきいき勉強会 テーマ『交通安全と防犯』

「かもいきいき勉強会」と題して、賀茂地域で考えていきたい問題や解決したい問題を賀茂地域の皆さんと一っしょに、勉強し話し合い、少しでも解決に近づけていきたいと考えています。今後、皆さんの意見を聞きながら、必要に応じて開催していきたいと考えています。

第1回かもいきいき勉強会は、「交通安全と防犯」と題して、倉吉地区交通安全協会三朝町支部旭分会と共催で開催します。開催時期、開催場所を変え、3回開催しますので、ど



たでもご都合のよい時期、場所で、ご自由に参加してください。開催予定は次のとおりです。

7月20日(金) 19:30~21:00 吉尾なごみの館

9月未定 19:30~21:00 牧ふるさと交流館

11月未定 19:30~21:00 (仮称)オアシス交流センター(本泉)

交通安全、防犯についていろいろなことを話し合いたいと思いますので、参加はもちろん、ご意見ご質問がありましたら賀茂地域協議会へお知らせください。

生活環境部企画 第2弾!!

かも花いっぱい運動コンテスト ~ 全集落参加による美化運動



賀茂地域の景観をよりよいものにするために、ゴミのポイ捨てができない地域にしていくことを目標に、かも花いっぱい運動コンテストを実施することになりました。すべての集落が参加し、創意工夫した活動を模造紙1枚に写真を使い、作業風景、花壇・プランタの様子、美化活動の取り組みなどをまとめていただき、見ていて楽しい報告書にしていきたいと思ひます。報告書は、審査後、賀茂公民館や文化ホールに掲示して、皆さんに見ていただきます。

賀茂地域協議会からは集落に対し1万円を助成します。その用途はこのコンテスト参加のための支出であればなんでも使っていていただいて結構です。例えば、種苗代、プランタ代、腐葉土、道具、報告用模造紙、マジックなど

報告〆切は10月末日、審査は11月上旬を予定しています。



賀茂公民館の 使用について

賀茂公民館の使用は、電話等で地域振興課(43-3515)に必ず申し込み、鍵は当日、役場宿直室で借りてください。

使用後は、きちんと片付け、ゴミの持ち帰りにもご協力ください。鍵の返却は役場宿直室へ。

集落要望を地域協議会で集約！

～ 国・県・町への要望書を調整 ～



6月18日(月)賀茂地域協議会理事会を開催し、各集落の要望取りまとめを行いました。約70項目の要望が出され、その中から、地域全体の要望について話し合い、さらに執行理事会で再検討を加え、国・県・町に要望書を提出することになりました。

国・県への要望は、7月9日15:00～ブランチールみささで行われる各地域合同の要望会で提出します。町への要望は、8月3日と5日に現地踏査を行い、要望の内容を確認し、より具体的な提案として要望書を作成し、町長、

議長に提出する予定にしています。

国県への要望事項は次のとおりです。

- ① 県道鳥取鹿野倉吉線の勘平倉吉間の道路拡幅等安全対策の早期着手
- ② 賀茂橋の完成に引き続き、一般県道本泉大瀬線の道路拡幅等の改良促進
- ③ 河戸橋架替工事の早期着手、交通事故防止のための河戸橋交差点改良
- ④ 賀茂地区内急傾斜地崩壊防止対策の早期対応
- ⑤ 加茂川全域の改修を早期完了、魚の棲みやすい川づくり

合同要望会には、各集落区長(地域協議会理事)と執行理事が出席することにしております。要望提出後も執行理事会で地域要望を検討していきます。



要望が多い導水路等土砂対策

賀茂の歴史を覗く!!!



赤松下の鳥居



赤松上の鳥居

神社紹介の第10弾、今回は「赤松神社」を訪ねます。残すところ本泉神社のみとなりました。

赤松には鳥居が2ヶ所にあるのをご存知でしょうか。想像ですが、赤松と久鳥が別々の集落だったから2ヶ所にあるのかも・・・。集落の上に見える鳥居(久鳥)は、秋葉さん。下に見える鳥居が赤松神社の鳥居です。赤松神社の祭神は猿田彦命で、鎮座処は中森と「近世 東伯耆の神々」に記されています。江戸時代の記録では、本社に三王権現、三宝大荒神、末社に大歳荒神、伽藍荒神、三宝荒神が祀られています。

赤松の祭神 猿田彦命(サルタヒコノミコ)は、日本神話に登場する神でよく耳にする神様です。古事記、日本書紀にある天孫降臨の段に登場し、邇邇芸命(ニギノミコ)が天降りしようとしたとき

天の八衢(ヤチマ)に立って高天原から葦原中国までを照らす神がいました。その神の鼻長は八咫、背長は七尺、目が八咫鏡(ヤノガミ)のようで、ホオズキのように照り輝いていました。そこで天照大神と高木神は天宇受売命(アマノウズメ)に、その神の元へ行って誰であるか尋ねるよう命じました。その神は国津神の猿田彦で、邇邇芸命らの先導をしようとして迎えて来たのでした。

邇邇芸命らが無事に葦原中国に着くと、邇邇芸命は天宇受売命に猿田彦を送り届けて、仕えるようにと言いました。(日本書紀では、猿田彦が天鈿女命(あめのうずめ)に自分を送り届けるように頼んだとなっています。)そこで天宇受売神は「猿女君」と呼ばれるようになりました。

「鼻長八咫、背長七尺」という記述から天狗の原形とされ、また「天地を照らす神」ということから、天照大神以前に伊勢で信仰されていた太陽神であったとする説もあります。さらに、天孫降臨の際に道案内をしたことから、道の神、旅人の神とされ、全国各地で塞の神・道祖神が「猿田彦神」として祀られています。妻とされる天宇受売神とともに祀られるのが通例だそうです。赤松のどこかに祀られているのでしょうか？

